

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	月組（5歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近な物

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
園庭が小さな砂場のスペースしかないため、散歩へ行く機会が多い。近くに遊歩道や公園、線路があることから散歩に行く時間を活かし、「自然」「身近にあるもの」をテーマにして探究する。散歩中に気になる植物や昆虫、電車等をタブレット端末に写真を撮って、園に戻ってきた後に写真に撮った植物や昆虫の名前、特徴等について調べ、探究していく。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
タブレット端末(iPhone・iPad)

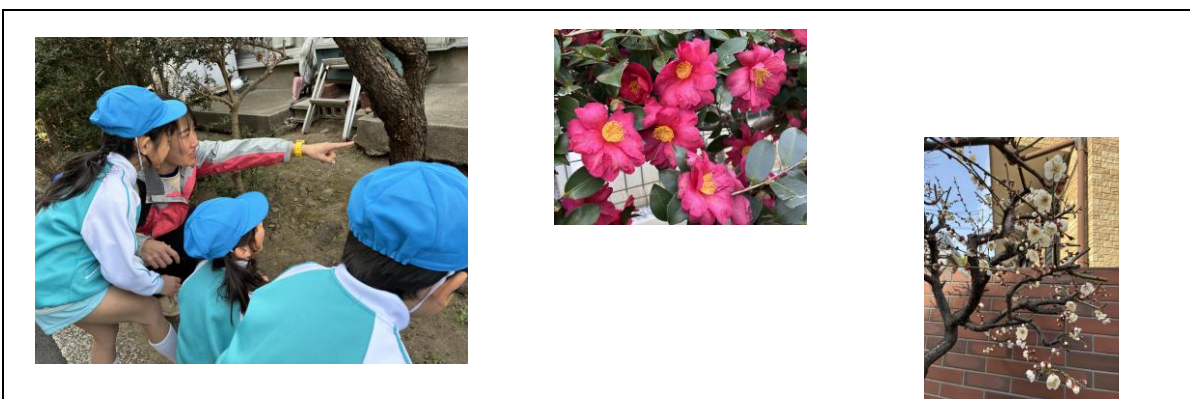
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

1/26(月) 戸外活動 内容：遊歩道の散策
・園の近所の遊歩道へ出掛け、咲いている植物や木々に興味を持ち、探索活動を行う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
・遊歩道での探索活動中、普段は公園への道のりで通り過ぎることが多く、遊歩道に咲く植物にじっくりと目を向けることが少なかったが、興味を持って観察する姿が見られる。
・「これはさくら？」「これは何て言うお花？」など観察する植物の名前を知ろうと保育者へ尋ねる姿が見られる。
・観察中には、花の名前などを保育園へ持ち帰って調べる為写真を撮るように保育者へ頼む姿も見られた。
・同じ種類の花でも色違いの花が咲いていることに気が付いたり、葉っぱの種類や大きさが花によって異なることにも目を向ける姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

「自然・身近な物」に関して、初めてすくわくプログラムの活動を行った。子ども達も初めて行う活動に期待を持ち、戸外へ出掛けることが出来た。探索活動中、とても身近で園内の直ぐ傍にある遊歩道に足を運び、普段は公園までの道中で通り過ぎる場所であったが、足を止めてじっくり観察することで様々な花が咲いていることが分かり、子どもたちもじっくりと花や葉っぱを観察し、同じ種類の花が咲いていたり葉っぱの大きさが異なっていたりなど種類によって違うものもあることにも気が付き、良い経験となった。このプログラムを通して、花の品種を調べたり興味を持って探索活動に参加し、疑問に思ったことや気づきを大切に、今後もすくわくプログラムに取り組んでいく。

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	月組（5歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近な物

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
園庭が小さな砂場のスペースしかないため、散歩へ行く機会が多い。近くに遊歩道や公園、線路があることから散歩に行く時間を活かし、「自然」「身近にあるもの」をテーマにして探究する。散歩中に気になる植物や昆虫、電車等をタブレット端末に写真を撮って、園に戻ってきた後に写真に撮った植物や昆虫の名前、特徴等について調べ、探究していく。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
タブレット端末(iPhone・iPad)、プロジェクター

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

2/6(金) 2/17(火) 内容：調べ学習

・前回のすくわく(遊歩道散策)で持ち帰った写真を参考に、調べ学習に取り組む。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
・遊歩道での散策活動の際にiPhoneで撮影した花や木々の写真がどのお花の種類か、iPadとiPhoneを用いてインターネットと図鑑で調べた。
・遊歩道で植物を観察していた時には「さくら」と言っていたお花も、「梅の花」であることがわかった、色に種類があるのか、桜と梅の花が似ているのはなぜなのかなど疑問として声があがった。
・椿と牡丹の似ている花の違いにも注目して調べ学習行っていた。
・花の咲き頃にも注目して調べ、興味を深める姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・iPhoneで写真を撮って図鑑やインターネット(iPadやiPhone)を用いて調べることから、「観たもの」を起点に学びを広げ、自身の興味を自身で深めようとする主体性が育っていることに気づける。
・桜だと思っていた花が梅の花だと知った瞬間、「色がどうちがうの?」と疑問が湧き、考えようとして調べようとすることに繋がった。保育者へ「なぜ?」と尋ねて正解を教えてもらうのではなく、一緒に考えたり調べたりする中で、子どもが自分で調べようとして考えたりしようとする姿が育つように働きかけることで「探求」に繋がった。正解を知ることよりも「なぜ?」が生まれることが学びを深めることに繋がる。
・椿と牡丹の違いに注目したところ、見比べる力や・特徴を捉える力が育っていることに気づく。
・花の咲き頃に興味を持った姿から子どもたちが自然の仕組みや季節の移り変わりに目を向け始めていることが読み取れ、名前だけでなく「季節」「時期」など背景にも関心が広がっている。
・ただ「きれい」だけではなく「これは何?」「どう違う?」「いつ咲く?」と問いながら見るようになることで観察力や思考力、探求心が生まれ、調べる経験が自然を見る“目”を育てている。

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

クラス名	月組（5歳児）
施設名	蒲田音楽学園保育園
施設所在地	東京都大田区西蒲田四丁目27番2号
法人名	社会福祉法人扶社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・身近な物

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

園庭が小さな砂場のスペースしかないため、散歩へ行く機会が多い。近くに遊歩道や公園、線路があることから散歩に行く時間を活かし、「自然」「身近にあるもの」をテーマにして探究する。散歩中に気になる植物や昆虫、電車等をタブレット端末に写真を撮って、園に戻ってきた後に写真に撮った植物や昆虫の名前、特徴等について調べ、探究していく。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
タブレット端末(iPhone・iPad)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

3/16(月) 3/25(水) 内容：掲示物作成

・調べ学習をしてきたこと、グループに分かれてまとめる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

・調べ学習をしてきた経験から、3つのグループに分かれてまとめる作業を行った。
・グループ毎に掲示物作成に向け、iPhoneで写真をどこに貼るか、文字はどこに書くか、ペンは何をを使うか等相談して、掲示物を作成している。
・上手く分担を分け、声を掛け合って進めるグループの姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・これまでのiPhoneとiPadを活用しての調べ学習の積み重ねを整理し、グループで一つ形にまとめる力として表れている。ただ調べるだけでなく、「どう伝えるか」を考える段階に進んでいる。
・写真の配置、文字を書く場所、使うペン等細かな部分まで話し合いながら見ている姿から自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりする力が育ち、子ども同士の相談が自然に生まれている。
・声を掛け合いながら作業を進めるグループの姿は目的に向かって協力し合う力が育っており、自然と役割を分け、互いを支え合いながら進める姿は協働性が高まっている。
・掲示物づくりに向けて、「どうしたら見やすいか」「どんなレイアウトがいいか」などを自分たちで考え、表現の工夫や見せ方への意識が育っている。
・相談し合い、助け合いながら進める経験は仲間との繋がりや信頼感を強める機会になり、グループ活動が子ども同士の関係を深めることに繋がる。